

プロトコール資料

最高裁秘書課渉外連絡室

平成30年3月 初版

目 次

- 第1 プロトコールとは
- 第2 敬称, 呼称
- 第3 序列, 席次
- 第4 お礼状
- 第5 招待状
- 第6 服装

文 献

- 基礎知識 : 国際儀礼の基礎知識 (寺西千代子著)
- CTJ : Courts and Tribunals Judiciary/ What do I call a Judge?
- CF : Correct Form (Bebrett's)
- HR(web) : Honor & Respect (website, Robert Hickey)
- 公式マナー : 世界に通用する公式マナー (寺西千代子著)
- 基本講座● : 国際儀礼の基本講座～その●～ (外務省地方連携推進室)
- グローバル通信● : 「グローバル通信」第●号プロトコール講座 (外務省)

はじめに～プロトコールの考え方について～

この資料は、渉外連絡室がプロトコールに則った対応に困った経験を端緒として作成に至ったものです。

プロトコールとは、国際社会での公的な関係、公的な場・行事、公的な地位・官職に関する規則や慣例を言い、その目的は、(1)国際社会の営みをスムーズにする、相手（国）に「不快感」や「憤り」を与えない、(2)秩序ある居心地の良い（国際）環境を造るなど、（国際）社会と人々との関係を潤滑にすることを目的としています。

この資料は、上記の趣旨に則り、最高裁がお迎えする賓客に対するプロトコールの原則を最高裁での過去の実例も含めてとりまとめたものです。

しかし、プロトコールは時代の変遷により変化し、また個人の考え方で様々な説があり得ます。さらに、この資料が全ての場面を網羅できているわけではありません。そのため、この資料の中で想定されていないものについては、そのときの状況に応じて最適と思われるプロトコールを、上記の目的に照らして導き出していきたいと思えます。

そして、新たな実例を積み重ねて、この資料を発展させていただければ幸いです。そうなることを切に願っております。

平成30年3月 渉外連絡室

第1 プロトコールとは

別紙1 参照

第2 敬称, 呼称

1 総論

(1) 高位高官の敬称

ア 現職を退いた後の高位高官に対しては儀礼上, 現職時代の敬称をそのまま用いることが一般慣例 (基礎知識 P 40)

(例) 宛名は The Honourable (Honorable) [REDACTED], Chief Justice
とし, 起句は Dear Chief Justice, とすべきである (Dear Mr.
[REDACTED], とするのは誤り。)

イ 書簡は同格の者同士で交換されるのが基本原則 (基礎知識 P 40)

(2) 敬称の対象, 宛名, 起句

別紙2のとおり。ただし, 国によって様々なルールが存するので, 悩ましい事例では, 在外公館に確認することが望ましい。

2 各論

(1) イスラム教の国 (マレーシア, ブルネイ等)

敬称 + 自分の名前 + 息子(bin) / 娘(binti) + 父の名前で, 氏名が構成される。

(例)

[REDACTED] ([REDACTED] の息子の [REDACTED])

[REDACTED]

[REDACTED]

[REDACTED]

[REDACTED]

(注) Haji はメッカ巡礼者につく。

呼びかけは、敬称＋名前，または敬称のみ（同じ敬称の方がいない場合）が一般的とされる（山本庸幸最高裁判事メモ）。

(2) タイ

ファーストネーム（名前）で呼ぶのが一般的。例えば、
（Mr. ）裁判官は、
裁判官と呼ぶこととなる（2018. 2. 23 付けタイ大使館メール）。

ただし、国際会議など公式な場では姓で呼ばれることがある。

第3 序列，席次

国際儀礼では右上位が原則である（基礎知識 P 70）。

1 自動車

- (1) 乗り降りが容易な後席の車寄せに近い席が上席とする説（基礎知識 P 70）と後席の右側が上席とする説（基本講座 6）とがある。後者においても，日本は左側通行のため，上位者が後部座席左側に座る場合があり，2 番目の人は，車の右側から後部座席の右側に座ればよいとの指摘あり。

※ 外務省や大使館から来所する車は，前者に依っていることが多いと思われる。

※ 左ハンドルの例



画像部分

2 室内の上席

(1) 日本座敷

ア 床の間に近い場所が上席（基礎知識 P 7 2）

イ 額や屏風の前の席が上席

(2) 洋室（グローバル通信 7，基礎知識 P 7 2）

ア 入口側を下位の席，その反対側を上位の席

イ マントルピース（暖炉 mantelpiece）があれば，マントルピースの前が上席（マントルピースは迎賓館赤坂離宮の彩鸞の間等にある）。

ウ 庭など眺めの良い席は上位者に与える場合が多い。

エ レストランなどで，壁を背にした長椅子席がある場合は，長椅子席が上席

オ 応接セットでは，長いソファが上席

カ 宴席の席割では，ホストの右側が女性客 No.1，左が女性客 No.2，ホステスの右側が男性客 No.1，左が男性客 No.2，以下右 No.3，左 No.4…と交互に上位の席を決めていく。

(3) 席次

ア 序列の基準は，①国等の組織名のアルファベット順に基づく方法と②参加者のランクに基づいて序列付けを行う方法とがある（基本講座 5）。

イ 出席者の序列については，行事の趣旨，出席者の経歴，年齢などを踏まえ判断する必要がある（グローバル通信 7）（

）。

ウ 食事の席では，性別（なるべく同性同士が固まらないように），

語学力（外国語に堪能な人に潤滑油の役割を期待する）、友好関係か非友好関係か（仲の良くない者同士を隣り合わせにしない）等に配慮する（基本講座５）。

(4) 通訳の席次（基礎知識 P 76）

ア 通訳がテーブルにつく場合

ホストの左側で通訳する（通訳は序列の順番にはカウントしない）。

イ 通訳がテーブルにつかない場合

ホストの背後で通訳する。

(5) 最高裁内応接室の上席について

ア 最高裁の各部屋の上席は次のとおり。

(ア) [] : 眺めの良い入口側

(イ) [] : 入口の反対側

(ウ) [] : 眺めの良い入口側

(エ) [] : 廊下側入口（[] 側ではない）の反対側

(オ) [] : 屏風の前かつ眺めの良い入口側

(カ) [] : 入口の反対側

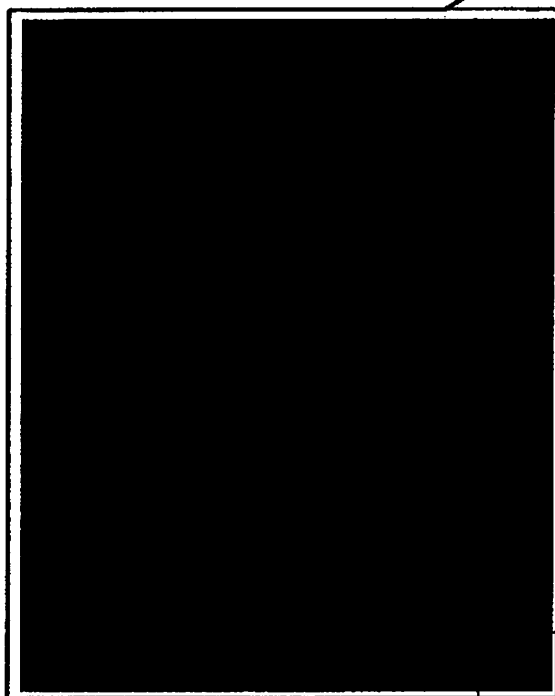
(キ) [] : 入口の反対側

(ク) [] : 入口の反対側

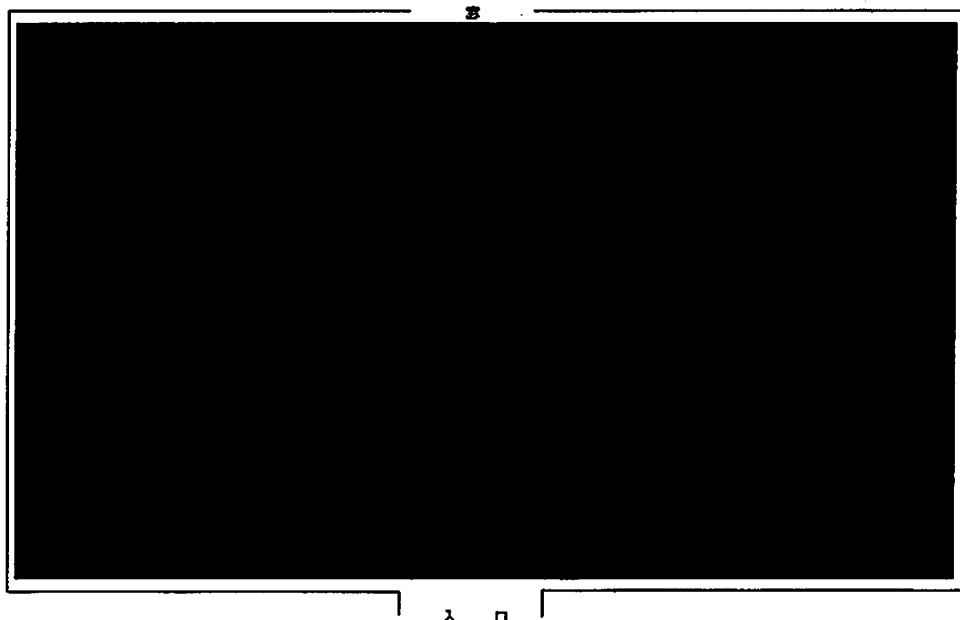
(ケ) 迎賓館花鳥の間の例

イ 配置例（実情に応じて変更すること）

(ア) 



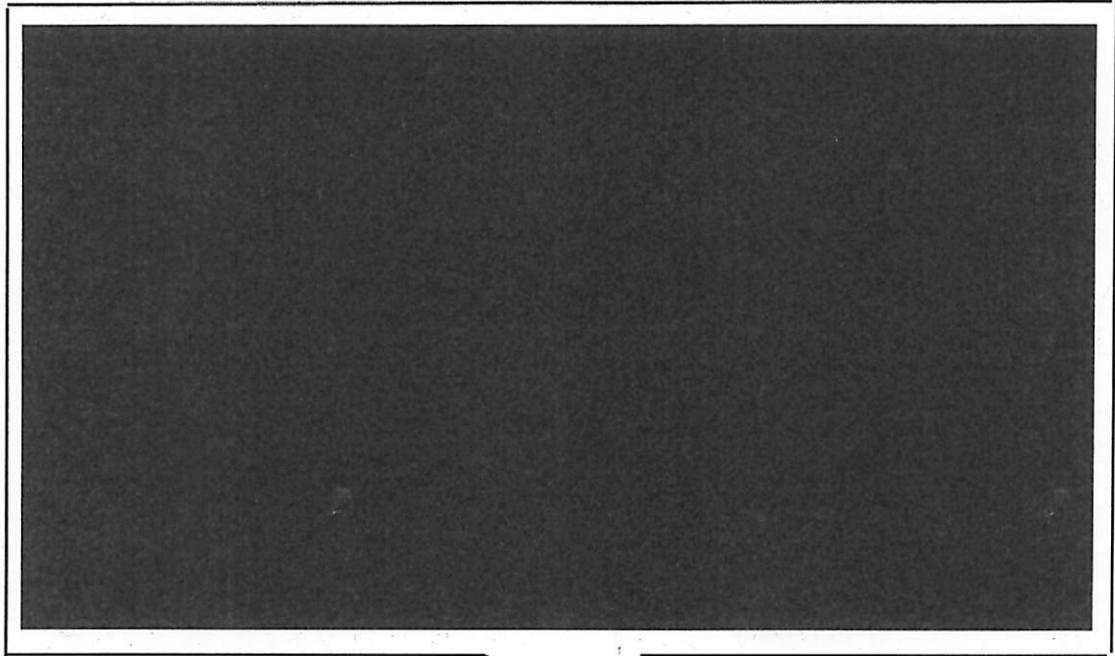
(イ) 



(ウ)

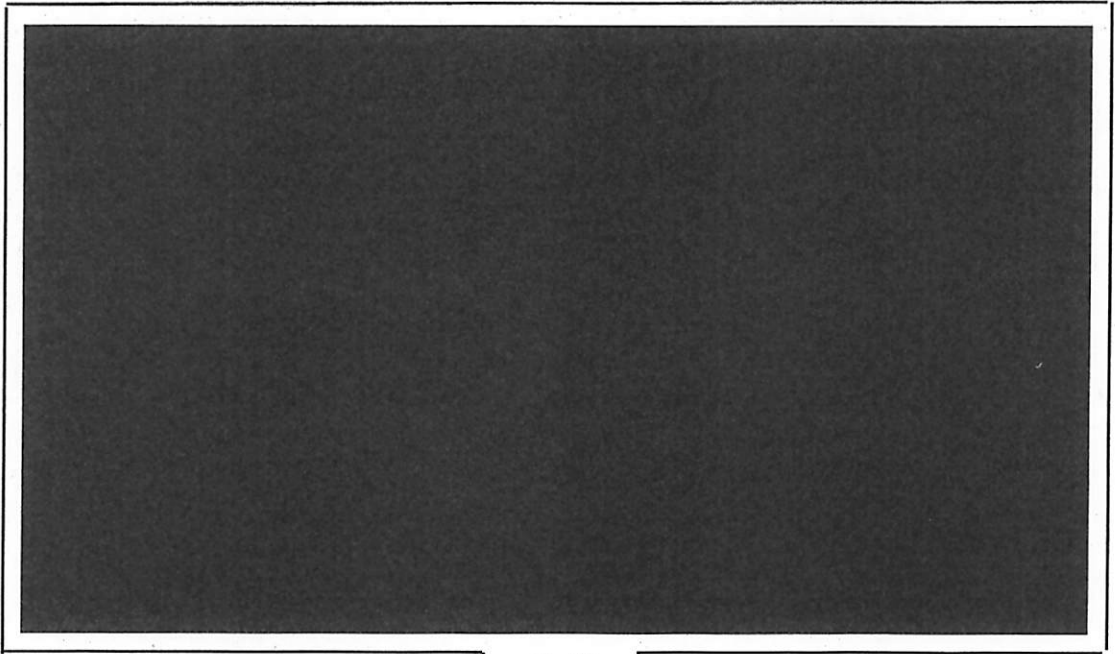


A 一般的な場合



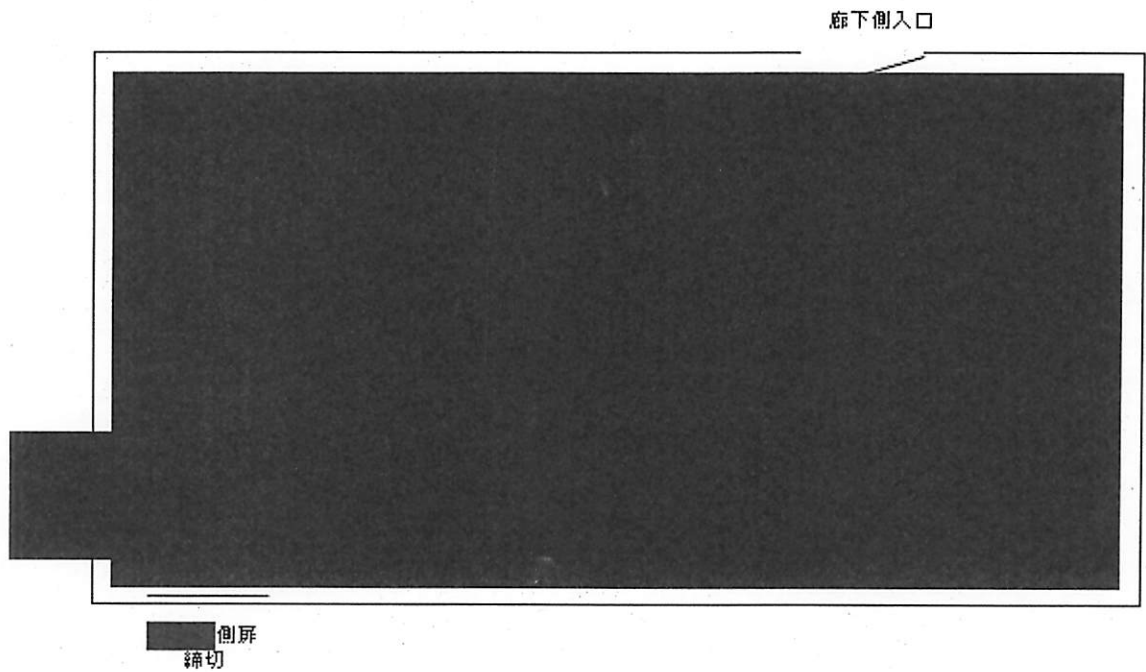
(入 口)

B 表敬者の格が，被表敬者の格以上のとき



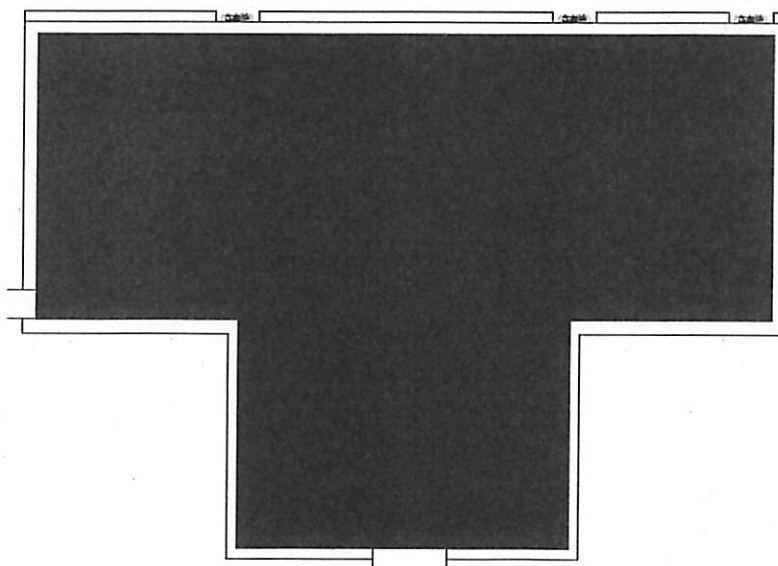
(入 口)

(エ)

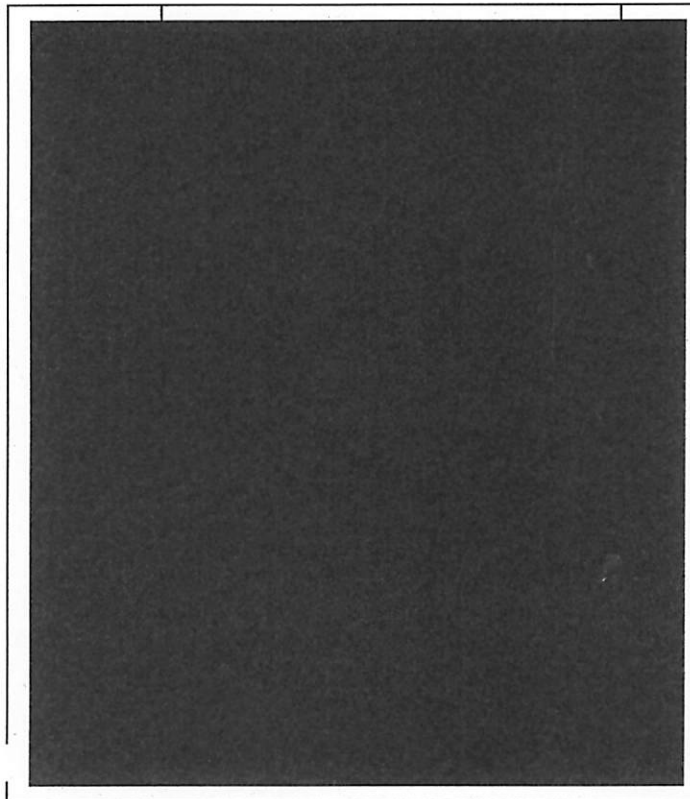


(オ)

最高裁の円卓（直径 150cm）であれば、正餐（着席）での利用は一卓あたり 5 名程度が適正である（H29 ホテルオークラから聴取）。下記配席はグローバル通信 7 の例 3 を参考にした。

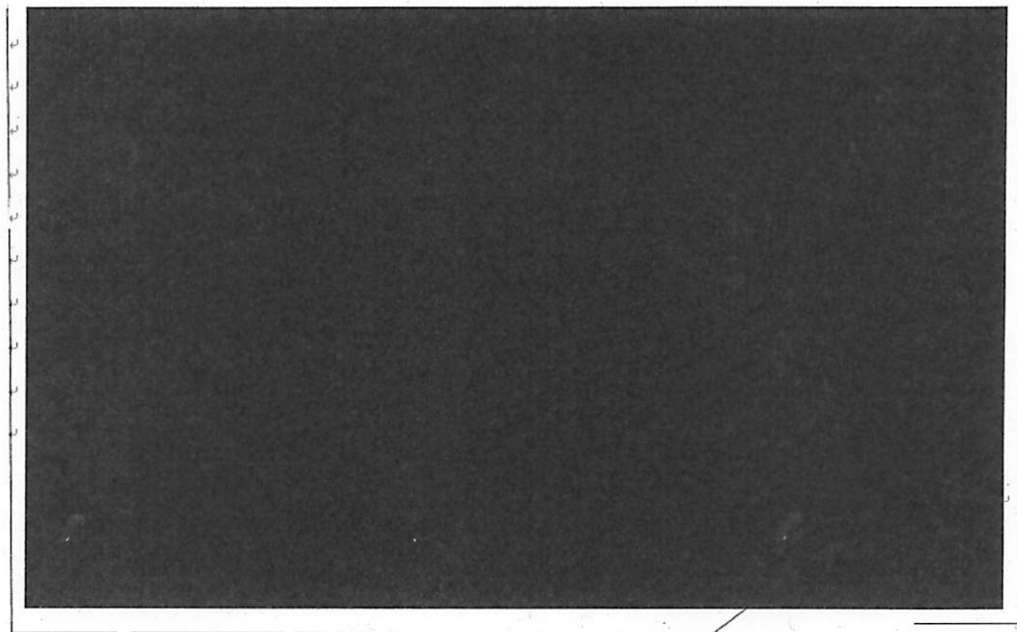


(カ) 

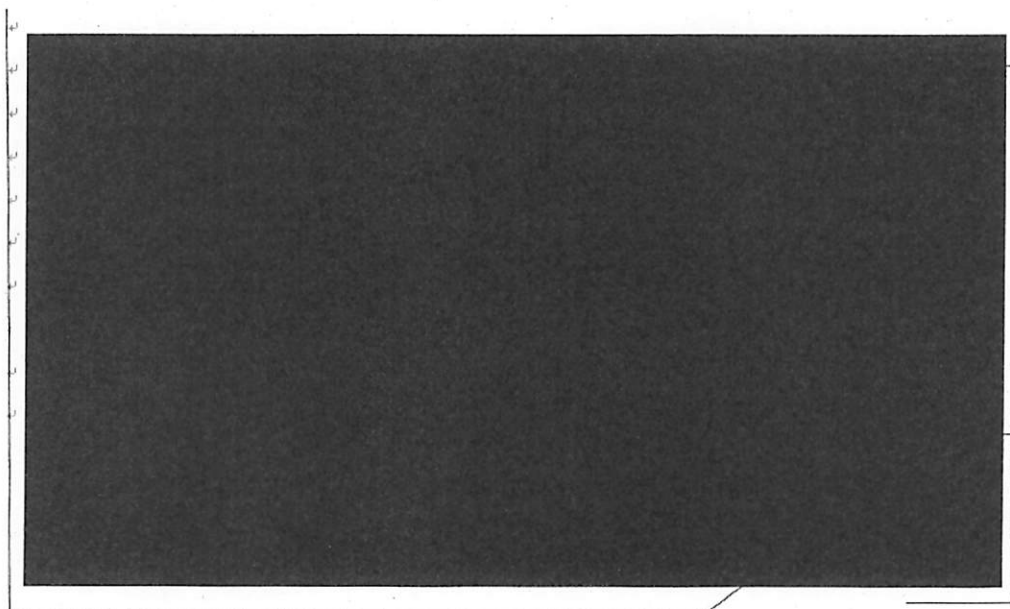


(キ) 

A 通常



B プロジェクター使用時

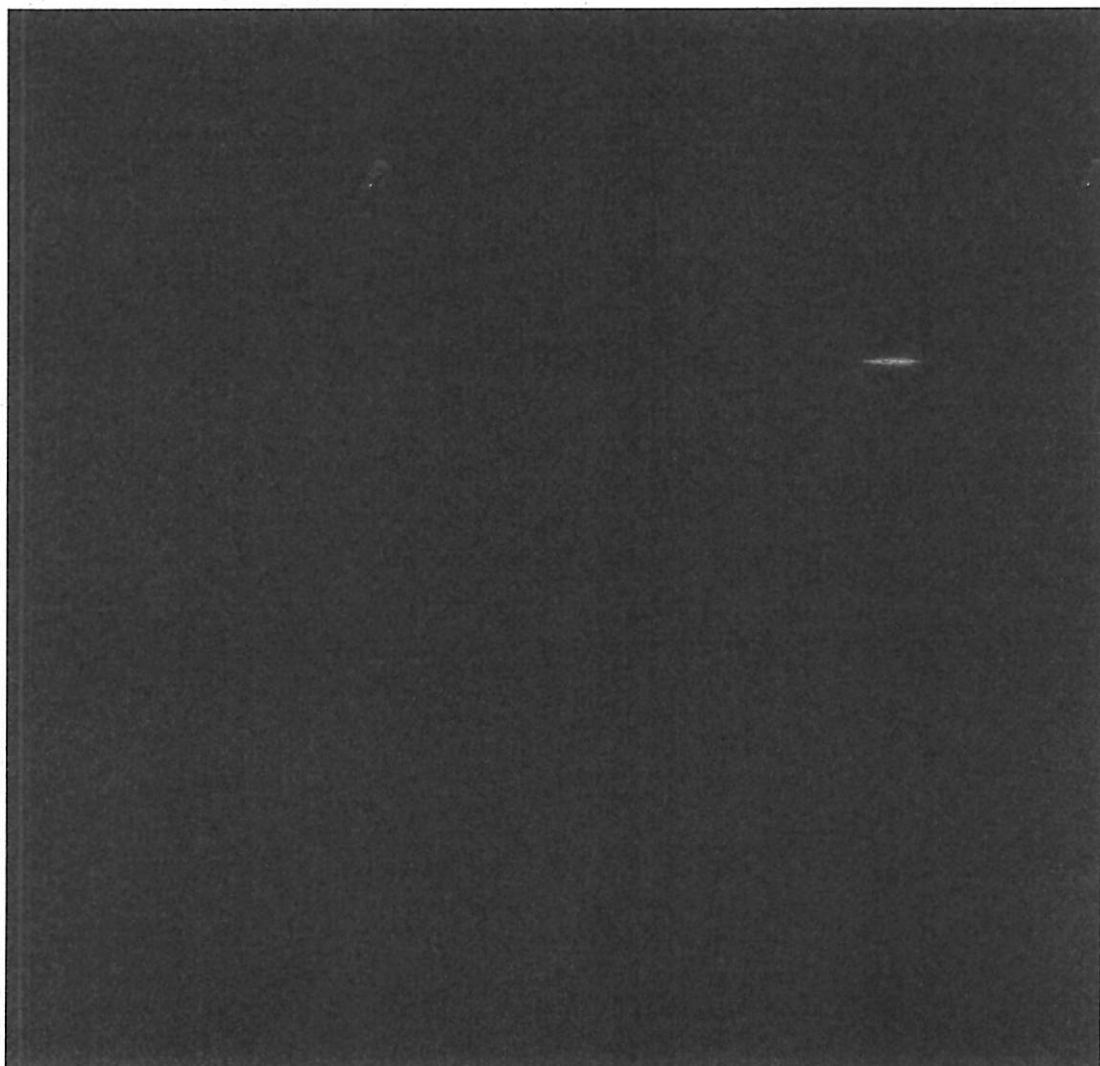


(ク)

第17回アジア太平洋最高裁判所長官会議では、アルファベット順に配置することを原則としつつ、通訳を同行している国が四つ角に配置されるよう工夫した（スペースを広く利用できるようにするため）

Seating Chart ()

Door



Front of Room

(ケ) 迎賓館花鳥の間の例

第17回アジア太平洋最高裁判所長官会議では、迎賓館花鳥の間で晩餐会を実施した。各国の司法府の長が一堂に会したため、[REDACTED] 下記のとおり配席を計画した（ただし、当日、事情変更により一部変更をしている）。

[REDACTED]

[REDACTED]

[REDACTED]

[REDACTED]

星字：男性
参字：女性
△：○の右側にある△は通訳人

第4 お礼状

お礼状は紋切り型でも，とにかく早く出すべきである。一般的には，イベント後，1週間から10日以内に出すのが望ましい（公式マナー，CF1 18頁）。

肩書	封筒の宛名	起句	口語で直接呼びかける	口語及び文で言及する	席礼	配偶者への呼びかけ	備考
最高裁判官							
最高裁判事	The Honorable (Honourable)		(Mr./Madam) Justice			Mrs.(又はMr.)+判事のフルネーム(又はMr.+本人のフルネーム)(但し、配偶者自身がSir,Dr.などの場合はこれを用いる。)	
	基礎知識 42頁		基礎知識 42頁			基礎知識 42頁	
駐日大使	His(Her) Excellency the Ambassador of Finland	Ambassador Mr./Madam Ambassador Your Excellency	Your Excellency又は肩書((Mr.)Ambassador)			Mrs.(又はMr.)+フルネーム(但し、配偶者自身が肩書を有している場合は同肩書に応じた敬称)	
	基礎知識 43頁	基礎知識 44頁	基礎知識 43頁			基礎知識 43頁	
大臣	His(Her) Excellency フルネーム	Excellency又は Mr.(Madam) Minister ただし、 氏 の校閲により、Mr. Ministerを Your Excellencyに修正されたことがある。	Excellency又はMr. (Madam) Minister	His (Her) Excellency フルネーム Minister of XX Affairs of 国名	The Minister of XX Affairs		
	基礎知識 53頁	基礎知識 53頁	基礎知識 53頁	基礎知識 53頁	基礎知識 53頁		
事務次官 secretary of state (vice minister), Ministry of X							
議長							
学長	Dr. (Full name) President/Chancellor (College/university) (Address)	Dear Dr. (Surname):	The Chancellor or by name	Chancellor (on a platform) otherwise according to rank and name)			
	The Chancellor of the University of XX	Dear Chancellor					
	(上段)HR(web) 1頁 (下段)CF 147頁	(上段)HR(web) 1頁 (下段)CF 147頁	CF 147頁	CF 147頁			
学部長	(Full name), (post-nominal abbreviations for degrees held) Dean of (students/college/ faculty) (College/university) (Address)	Dear Dean (Surname):					
	HR(web) 4頁	HR(web) 4頁					
学者 * Professor だけでなく、 Assistant Professor, Associate Professorを 含む	学位あり: Dr. フルネーム+取得学位 学位なし: Prof.+フルネーム(学位なし)	Dear Dr./ Mr. /Ms. (surname): Dear Professor (surname):	Dr. +姓 Professor +姓	Professor +姓			出版物や職制を明示したリストへ掲載するの なければ、assistantや associateを付けないと の指摘あり。
		Dear Sir or Madam					
	基礎知識 46頁	(上段)HR(web) 24頁 (下段)CF 147頁	基礎知識 46頁	CF 147頁			HR(web) 24頁

英国

肩書	封書の宛名	起句	口語で直接呼びかける	口語及び文で言及する	席礼	配偶者への呼びかけ	備考
英国最高裁 長官		Dear (Lord/ Lady) (surname)					
		米国弁護士メール					
英国最高裁 判事	The Honourable		(Mr./Madam) Justice			Mrs. (又はMr.) + 判事のフルネーム (又はMr. + 本人のフルネーム) (但し、配偶者自身がSir, Dr. などの場合はこれを用いる。)	
	基礎知識42頁		基礎知識42頁			基礎知識 42頁	
英国控訴院 首席裁判官	The Rt. Hon. the Lord Chief Justice of England and Wales	Dear Lord Chief Justice	According to title or The Lord Chief Justice	According to title or Lord Chief Justice			
	CTJ 2頁 CF 155頁	CTJ 2頁	CF 155頁	CF 155頁			
英国控訴院 記録長官	The Rt. Hon. the Master of the Rolls	Dear Master of the Rolls	According to title or The Master of the Rolls	According to title or Master of the Rolls			
	CF 155頁	CTJ 2頁	CF 155頁	CF 155頁			
英国控訴院 家事部長	The Rt. Hon. the President of the Family Division	Dear President	According to title or The President of the Family Division	According to title or President			
	CF 155頁	CTJ 2頁	CF 155頁	CF 155頁			
英国貴族 Knight/ Dame	Sir/Lady + フルネーム + 叙勲された勲章の略文字 (例: the Hon Sir [redacted], KCB)	正式な手紙 (Dear) Sir (Madam) 社交の手紙 Dear Sir [redacted]	Sir + ファーストネーム (例: Sir [redacted]) 女性の場合は、Lady + 姓			Sirの妻に対してはLady + 姓 Ladyの夫に対してはMr. + フルネーム (ただし、本人自身も貴族等であるときは、これに応じた敬称 (例: Lady [redacted] and Sir [redacted]) 基礎知識 44頁	英国RCJの[redacted]卿は、Dameの勲章を持っている。
	基礎知識 44頁	基礎知識 44頁	基礎知識 44頁			基礎知識 44頁	

米国

肩書	封筒の宛名	起句	口語で直接呼びかける	口語及び文で書及する	席礼	配偶者への呼びかけ	備考
米国最高裁 長官	The Chief Justice of the United States The Supreme Court One First Street, NE Washington, DC 20543	Dear Chief Justice					
	HR(web) 6頁	HR(web) 6頁					
米国最高裁 判事	Justice (surname) The Supreme Court One First Street, NE Washington, DC 20543	Dear Justice (Surname);					
	HR(web) 7頁	HR(web) 7頁					
米国連邦裁 判所所長	The Honorable (Full name) Chief Judge (Name of Court) (Address)	Dear Judge (surname);	(Mr./Madam) Justice			Mrs.(又はMr.) +判事 のフルネーム(又はMr. +本人のフルネーム) (但し、配偶者自身が Sir,Dr.などの場合はこ れを用いる。)	
	HR(web) 9頁	HR(web) 9頁	基礎資料 42頁			基礎資料 42頁	
米国州最高 裁長官	Chief Justice (Full name) The Supreme Court of (state) (Address)	Dear Chief Justice (surname)					
	HR(web) 15頁	HR(web) 15頁					
米国州最高 裁判事	Justice (surname) The Supreme Court of (state) (Address)	Dear Justice (surname)					
	HR(web) 16頁	HR(web) 16頁					
米国州裁判 所判事	The Honorable (Full name) (Full name of Court) (Address)	Dear Judge (surname)	(Mr./Madam) Judge			Mrs.(又はMr.) +判事 のフルネーム(又はMr. +本人のフルネーム) (但し、配偶者自身が Sir,Dr.などの場合はこ れを用いる。)	
	HR(web) 18頁	HR(web) 18頁	基礎資料 42頁			基礎資料 42頁	